



認知症サポーターアクティブチームの皆さん

県庁で認定証書交付式 街なか図書館が認知症サポーターに

2/7 県庁で、認知症サポーターアクティブチーム認定証書交付式が行われました。県内の14団体が認定され、市内では高齢者に社会とのつながりの場を提供している街なか図書館が認定されました。サポーターの平山隆夫さん(72)＝松橋町＝は「高齢者が地域の中で楽しく生活し、それを温かく受け入れる地域を目指し、街なか図書館も役立つように努力していきたい」と話していました。



みどりの少年団がサツキツツジを植え付け

「平成30年度 宇城植樹祭」 緑を未来につなごう

2/9 豊野町の宇城市屋内多目的広場で植樹祭が開かれ、関係者など約60人が参加しました。宇城管内の緑化に取り組む宇城地域森林・林業振興協議会と宇城市みどり推進協議会の主催。式典では、守田憲史市長が「地域の緑を皆で守り、親しまれる里山に育てましょう」とあいさつ。植樹活動では、鶯ヶ丘公園にソメイヨシノの苗木2本とサツキツツジの苗木50本が植え付けられました。



表彰を受ける子どもたち

「第10回 宇城市児童生徒絵画コンクール表彰式」 第2、第3のマナブ間部を目指して

2/9 市児童生徒絵画コンクールの表彰式が不知火美術館であり、入賞者51人が出席しました。不知火町出身で世界で活躍したマナブ間部の画業をたたえ、市教委が毎年開催。今回は、市内の小中学校から2,401点の応募がありました。2頭の獅子舞を描き、小学1年生の部で最優秀賞に輝いた松橋小の長尾紅葉さんは「獅子舞の力強さを表すために、大きく描き工夫した」と笑顔でした。



たすきをつなぎ懸命の走りを見せた選手たち

「第45回 郡市対抗熊日駅伝」 いだてんになって走り抜けた

2/10 「郡市対抗熊日駅伝」が開催され、宇城市は5時間37分53秒で7位でした。2区の中山凜人さん(17)＝不知火町＝が区間賞の走りでトップに立つと、9区の内山祐希さん(17)＝松橋町＝、13区の関秀斗さん(15)＝松橋町＝と3人が区間賞に。関さんは「スタミナを心配したが、調子がよく積極的なレースができて区間賞が取れた。思い出に残るレースになった」と笑顔を見せました。

「不知火・わくわく不思議体験講座」 不思議なことを楽しく学ぼう

2/2 科学実験や工作などの講座が不知火町の中央公民館で開催され、約100人が参加しました。市教委の主催。参加者は、牛乳パックやストローを使った竹とんぼや、回すと不思議な模様が見えるこまを作ったりしていました。みそ玉づくりを家族で楽しんだという崎村友貴さん(7)＝不知火町＝は「かわいいみそ玉ができた。家族で食べたい」と満足そうに話しました。



CDと糸で工作。何ができるかな!?

豊野町で「忠霊塔」落成式 熊本地震で損壊した塔を2年半ぶりに再建

2/4 豊野町の鶯ヶ丘公園で「忠霊塔」の再建を祝う落成式が行われました。この忠霊塔は、昭和30年代に戦没者を悼んで建てられましたが、熊本地震で被災し、この度再建されました。この日は遺族など約30人が参加。豊野町遺族会の益田和成会長(75)は「多くの人のおかげで再建がかなった。戦争の悲劇を子や孫に伝え、平和を保っていく決意を新たにしたい」と話していました。



再建された忠霊塔に平和への祈りをささげる

河野亨さん高齢者叙勲 地方自治発展への功績が評価

2/5 旧不知火町議会議員の河野亨さん(88)＝不知火町＝が高齢者叙勲の旭日単光章を受章し、伝達式が市役所で行われました。この受章は旧不知火町の町議会議員として町政の発展に大いに貢献したことが評価されたものです。守田憲史市長から賞状と勲章が手渡されると、河野さんは「このような章をいただけたのも周囲の人や家族のおかげ」と感謝の言葉を述べました。



左から守田市長、河野さん、河野一郎市議会議員

松橋支援学校の日隈さんが意見発表大会で全国2位に 備えることの大切さを訴えて

2/5 全国の肢体不自由特別支援学校に通う生徒の意見発表大会が開かれ、九州・沖縄ブロックの代表として出場した松橋支援学校高等部の日隈渉さん(16)が2位の優秀賞に輝きました。日隈さんは、高等部全体で取り組んだ身近な物で作る防災グッズを紹介しながら、「備えておくことが災害時に自分でできることを増やすことにつながり、他人への手助けにもなる」と述べました。



受賞は先生や友人たちのおかげと話す日隈さん